交付運用報告書

Asset Management One

# インカムビルダー（毎月決算型）
## 世界通貨分散コース
追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
当ファンドは、世界（日本および新興国を含みます。）の債券・株式等に実質的に投資し、加えて為替取引による世界の10通貨への投資効果の追求を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**作成対象期間 2025年４月24日～2025年10月23日**

| | |
|---|---|
| 第130期 | 決算日：2025年５月23日 |
| 第131期 | 決算日：2025年６月23日 |
| 第132期 | 決算日：2025年７月23日 |
| 第133期 | 決算日：2025年８月25日 |
| 第134期 | 決算日：2025年９月24日 |
| 第135期 | 決算日：2025年10月23日 |

| | | |
|---|---|---|
| 第135期末（2025年10月23日） | 基準価額 | 7,653円 |
| | 純資産総額 | 2,258百万円 |
| 第130期～第135期 | 騰落率 | 16.6% |
| | 分配金合計 | 120円 |

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

**当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。**

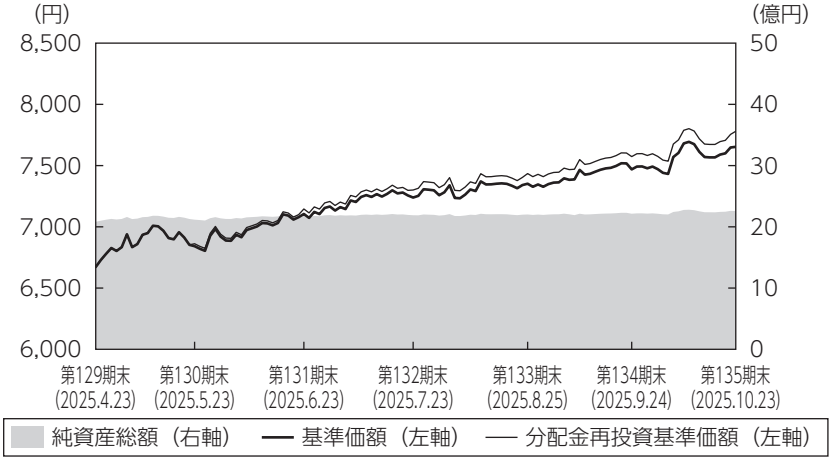

**■運用報告書に関するお問い合わせ先**

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2　https://www.am-one.co.jp/

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移




第130期首：　6,672円
第135期末：　7,653円
（既払分配金120円）
騰 落 率：　16.6%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券への投資を通じて、世界の債券・株式等に投資を行う一方で、各国の通貨から選定した通貨（以下「取引対象通貨」といいます）への投資効果を追求するため為替取引を行いました。取引対象通貨が対円で上昇したことや、保有する投資適格債券やハイイールド債券の価格が上昇したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

## １万口当たりの費用明細

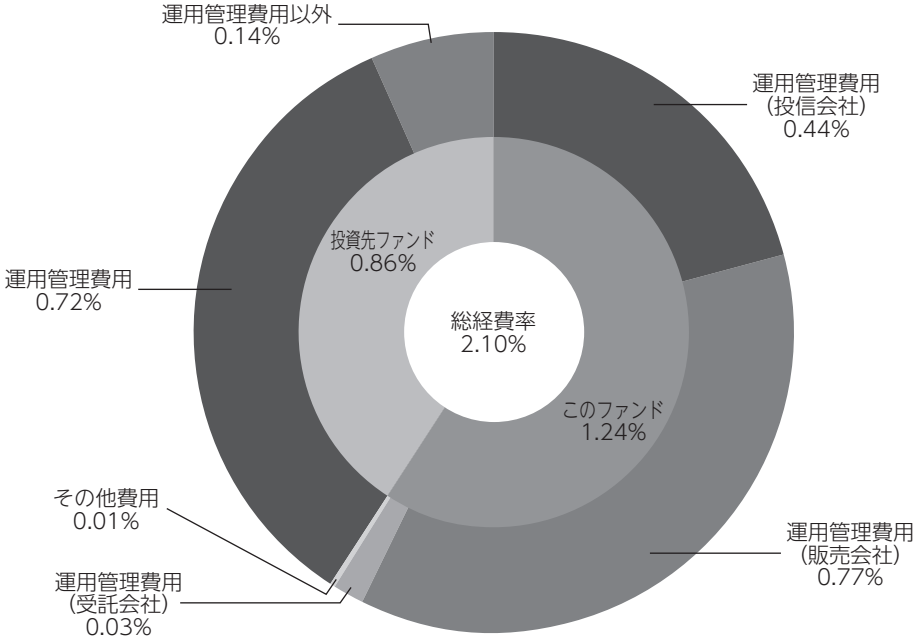
| 項目 | 第130期～第135期<br>(2025年４月24日<br>～2025年10月23日) | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 45円 | 0.622% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は7,229円です。 |
| (投信会社) | (16) | (0.220) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (28) | (0.385) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | ( 1) | (0.016) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.003 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | ( 0) | (0.002) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | ( 0) | (0.001) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | ( 0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 45 | 0.625 | |

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

**（参考情報）**

◆総経費率

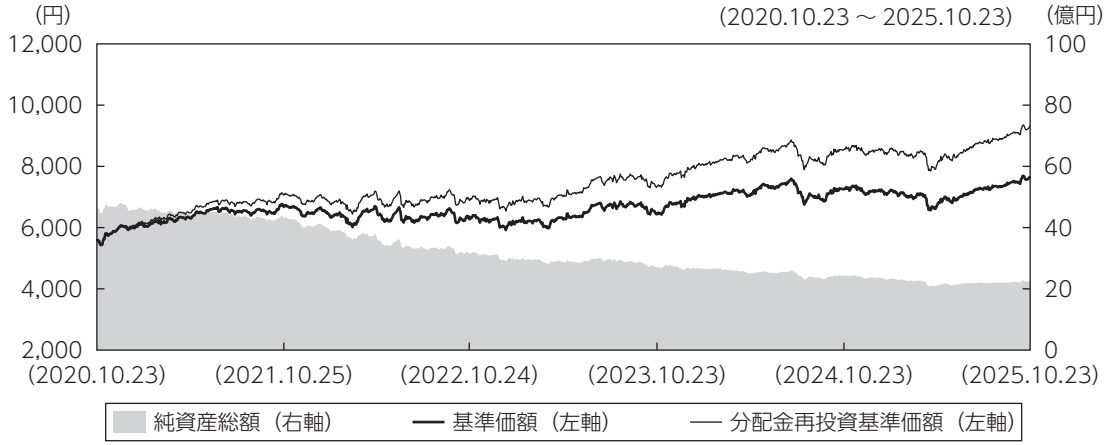
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.10%です。




| | |
|---|---|
| 総経費率（①＋②＋③） | 2.10% |
| ①このファンドの費用の比率 | 1.24% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.72% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.14% |

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）投資先ファンドは、源泉税を含みません。
（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近５年間の基準価額等の推移




（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、2020年10月23日の基準価額に合わせて指数化しています。

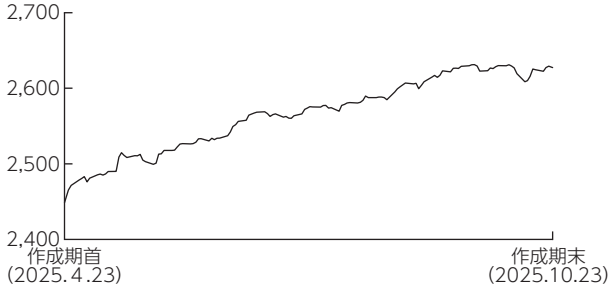
| | 2020年10月23日<br>期首 | 2021年10月25日<br>決算日 | 2022年10月24日<br>決算日 | 2023年10月23日<br>決算日 | 2024年10月23日<br>決算日 | 2025年10月23日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）　(円) | 5,585 | 6,675 | 6,272 | 6,434 | 7,254 | 7,653 |
| 期間分配金合計（税引前）　(円) | － | 350 | 240 | 240 | 240 | 240 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率　(%) | － | 26.4 | △2.4 | 6.5 | 16.6 | 9.1 |
| 純資産総額　(百万円) | 4,644 | 4,295 | 3,139 | 2,692 | 2,424 | 2,258 |

（注）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 投資環境

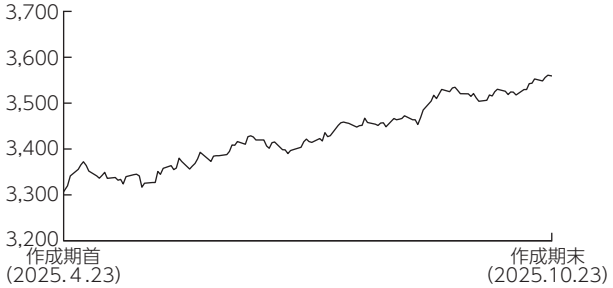
●米国の主要市況と為替市況

＜米国ハイイールド社債の推移＞




（注１）値はICE BofA・US・キャッシュ・ペイ・ハイイールド・インデックス（米ドルベース）の前営業日のものを採用しています。
（注２）ICE Data Indices, LLC（「ICE Data」）、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne㈱又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

＜米国投資適格社債の推移＞




（注１）値はブルームバーグ・米国社債インデックス（米ドルベース）の前営業日のものを採用しています。
（注２）「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国社債インデックス（米ドルベース）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne㈱による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne㈱とは提携しておらず、また、インカムビルダー（毎月決算型）世界通貨分散コースを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、インカムビルダー（毎月決算型）世界通貨分散コースに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

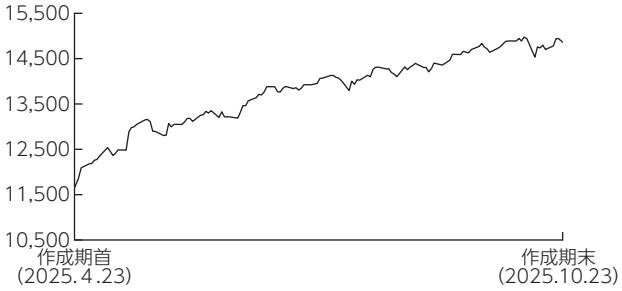
＜米国ハイイールド社債市場＞

米国ハイイールド債市場は上昇しました。作成期前半は、米中経済・貿易協議の進展期待や米英の貿易協定合意などを背景にリスク回避姿勢が後退したことから上昇しました。その後も、米国の消費や設備投資が堅調を維持する一方、労働市場の減速をうけてＦＲＢ（米連邦準備理事会）が９月に利下げを再開し、年内の追加利下げを示唆したことから上昇基調を継続しました。

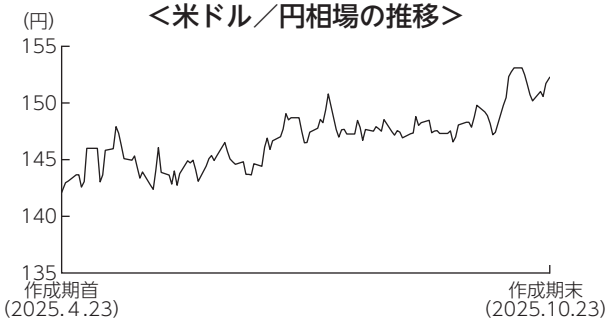
＜米国投資適格社債市場＞

米国投資適格社債市場は上昇しました。作成期初は一進一退で推移する場面もありましたが、６月に入り、物価指標が下振れたことなどを受け長期金利が低下したことから上昇しました。その後も、米国の消費や設備投資が堅調を維持する一方、労働市場の減速をうけてＦＲＢが９月に利下げを再開し、年内の追加利下げを示唆したことから上昇基調を継続しました。

＜米国株式の推移＞




＜米ドル／円相場の推移＞




（注）値はＳ＆Ｐ500インデックス（配当込み、米ドルベース）の前営業日のものを採用しています。

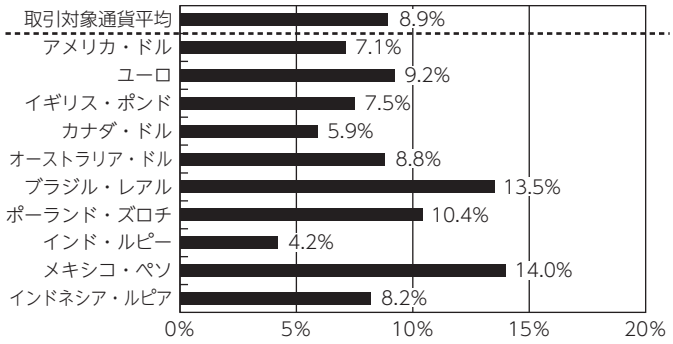
＜米国株式市場＞

米国株式市場は上昇しました。作成期前半は、米中経済・貿易協議の進展期待や米英の貿易協定合意などを背景にリスク回避姿勢が後退したことから上昇しました。その後も、米国の消費や設備投資が堅調を維持する一方、労働市場の減速をうけてＦＲＢが９月に利下げを再開し、年内の追加利下げを示唆したことから上昇基調を継続しました。

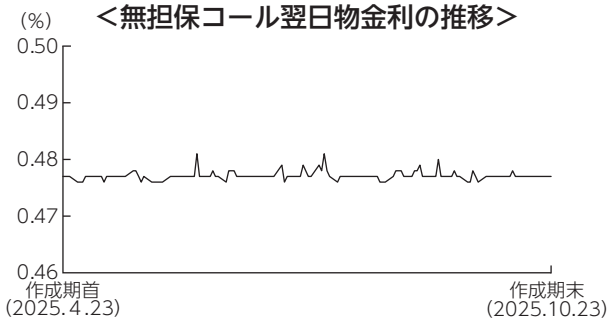
＜為替市場＞

取引対象通貨は、米中協議の進展期待などを背景にリスク回避姿勢が後退したことや、作成期末にかけては日銀による早期利上げ観測が後退したことなどが円安要因となり、10通貨ともに対円で上昇しました。通貨別では、メキシコペソやブラジルレアルの上昇が目立ちました。

＜取引対象通貨の対円での当作成期中の騰落率＞



●短期金融資産市況




国内短期金融市場では、無担保コール翌日物金利は0.47％から0.48％程度の水準で推移しました。

## ポートフォリオについて

●当ファンド

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、保有する外国投資信託に対して為替ヘッジは行いませんでした。なお、ＭＨＡＭ短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続しました。

●ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）

世界の債券・株式等を主要投資対象とし、高いインカム収入の確保を目指し値上がり益も追求しました。種別配分は投資適格債券やハイイールド債券などを中心に分散投資し、保有資産の通貨配分は米ドルを中心としました。また、取引対象通貨への投資効果を得るため、米ドル売り／取引対象通貨買いの為替取引を行いました。上記の通り運用を行った結果、保有している投資適格債券やハイイールド債券の価格上昇などから基準価額（米ドル建て）は分配金再投資ベースで上昇しました。

2025年９月29日現在

**種別組入比率**

| 種別 | | 比率 |
|---|---|---|
| 株式等 | | 7.9% |
| 債券等 | | 91.2% |
| | 転換社債 | 1.3% |
| | 非米ドル建て債 | 8.2% |
| | その他債券等 | 16.5% |
| | ハイイールド債券 | 26.6% |
| | 投資適格債券 | 25.4% |
| | 米国国債 | 13.1% |
| その他資産 | | 0.9% |

**通貨別組入比率**

| 順位 | 通貨名 | 比率 |
|---|---|---|
| 1 | アメリカ・ドル | 91.8% |
| 2 | ユーロ | 3.0% |
| 3 | 南アフリカ・ランド | 1.7% |
| 4 | トルコ・リラ | 1.3% |
| 5 | メキシコ・ペソ | 1.0% |
| 6 | オーストラリア・ドル | 0.7% |
| 7 | ウルグアイ・ペソ | 0.6% |
| 8 | 香港・ドル | 0.0% |
| 9 | 中国・元 | 0.0% |

**格付け別組入比率**

| 格付 | 比率 |
|---|---|
| ＡＡＡ | 2.9% |
| ＡＡ | 14.8% |
| Ａ | 9.8% |
| ＢＢＢ | 31.9% |
| ＢＢ | 23.6% |
| Ｂ | 10.3% |
| ＣＣＣ以下 | 3.8% |
| 無格付け | 2.9% |

**上位10銘柄の組入比率**

| 順位 | 銘柄名 | 種別 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 米国国債 | 米国国債 | アメリカ・ドル | 6.2% |
| 2 | 米国国債 | 米国国債 | アメリカ・ドル | 4.9% |
| 3 | 米国国債 | 米国国債 | アメリカ・ドル | 2.0% |
| 4 | 南アフリカ国債 | 非米ドル建て債 | 南アフリカ・ランド | 1.7% |
| 5 | ドイツ国債 | 非米ドル建て債 | ユーロ | 1.4% |
| 6 | コンチネンタル・リソーシズ | 投資適格債券 | アメリカ・ドル | 1.3% |
| 7 | エコスター | ハイイールド債券 | アメリカ・ドル | 1.1% |
| 8 | ディッシュDBS | ハイイールド債券 | アメリカ・ドル | 1.1% |
| 9 | メキシコ国債 | 非米ドル建て債 | メキシコ・ペソ | 1.0% |
| 10 | エコスター | ハイイールド債券 | アメリカ・ドル | 0.9% |

（注１）株式等にはＲＥＩＴ等を含みます。その他債券等には他項目に分類されないもので、米国の地方債やバンクローン等を含みます。
（注２）その他資産は100％から各資産の組入比率の合計を差し引いたものです。
（注３）ルーミス・セイレス社が提供するデータを基にアセットマネジメントOne㈱が作成しています。
（注４）組入比率は、特段の記載がない限り「ストラテジック・インカム・ファンド」の純資産総額に対する割合を表示しています。
（注５）格付けは、Ｓ＆Ｐ、Moody's、Fitchの３社による格付けのうち、最も高い格付けを採用しています（表記方法はＳ＆Ｐに準拠）。また、格付け別組入比率は、債券等の時価評価額に対する比率を表示しています。

●ＭＨＡＭ短期金融資産マザーファンド
残存期間が１年以内の短期公社債などで運用を行いました。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

| 項目 | 第130期 | 第131期 | 第132期 | 第133期 | 第134期 | 第135期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2025年４月24日～2025年５月23日 | 2025年５月24日～2025年６月23日 | 2025年６月24日～2025年７月23日 | 2025年７月24日～2025年８月25日 | 2025年８月26日～2025年９月24日 | 2025年９月25日～2025年10月23日 |
| 当期分配金（税引前） | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 |
| 対基準価額比率 | 0.29% | 0.28% | 0.28% | 0.27% | 0.27% | 0.26% |
| 当期の収益 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 |
| 当期の収益以外 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,940円 | 1,969円 | 1,998円 | 2,026円 | 2,054円 | 2,086円 |

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

●当ファンド

米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券の組入比率を高位に維持します。また、保有する外国投資信託に対して為替ヘッジは行いません。なお、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、ＭＨＡＭ短期金融資産マザーファンドの組み入れを継続します。

●ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）

米国経済は、関税発動等による影響を受け大幅に減速する可能性がある一方で、ＦＲＢは今後の金融政策については物価の安定や雇用の最大化等を意識して慎重に運営していくものとみています。このような環境下、長期投資を基本に割安と判断される銘柄に投資を行う方針です。通貨配分は米ドルを中心とし、米ドル以外の通貨も分散効果や利回り獲得などの観点から投資魅力が高い通貨の発掘に努めてまいります。

また、取引対象通貨への投資効果を得るために、米ドル売り／取引対象通貨（米ドルを除く）買いの為替取引を行います。

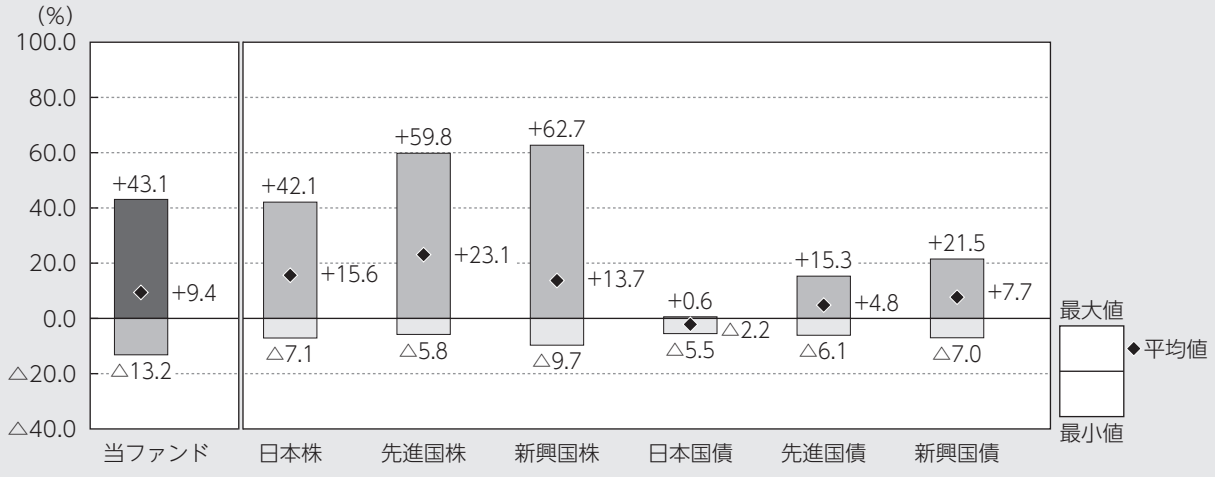
●ＭＨＡＭ短期金融資産マザーファンド

日銀は2025年９月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50％とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も短期公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## 当ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2014年７月９日から2028年４月21日までです。 | |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | インカムビルダー（毎月決算型）世界通貨分散コース | 米ドル建ての外国投資信託「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）」受益証券および円建ての国内籍投資信託「MHAM短期金融資産マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC） | 世界の債券および株式等を投資対象として分散投資を行います。 |
| | MHAM短期金融資産マザーファンド | わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）受益証券への投資を通じて、世界（日本および新興国を含みます。）の債券および株式等に実質的に投資するとともに、複数通貨に分散する為替取引（米ドル売り、対象通貨買い）を実質的に行います。なお、対象通貨については、原則10通貨を基本とし、保有資産の１／10程度ずつ、原則として米ドル売り・各取引対象通貨買いを行います。また、円建ての国内籍投資信託証券への投資を通じて、わが国の短期公社債および短期金融商品等に実質的に投資を行います。<br>当ファンドでは、直接保有する外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 分配方針 | 第２期以降の毎決算時（原則として毎月23日、休業日の場合は翌営業日）に経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は配当等収益の水準や基準価額の水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 | |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




2020年10月～2025年９月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

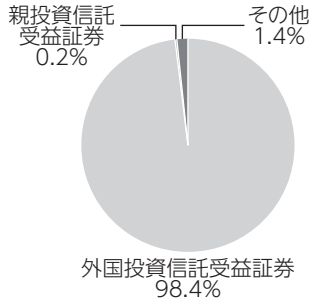
### 当ファンドの組入資産の内容（2025年10月23日現在）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：２ファンド）

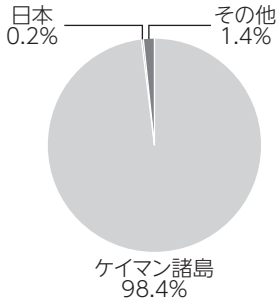
| | 第135期末 |
|---|---|
| | 2025年10月23日 |
| ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC） | 98.4% |
| MHAM短期金融資産マザーファンド | 0.2 |
| その他 | 1.4 |

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

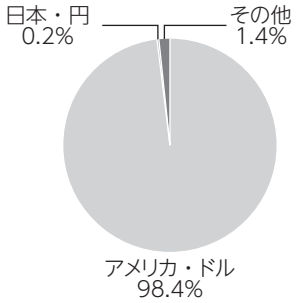
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。
（注３）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

### 純資産等

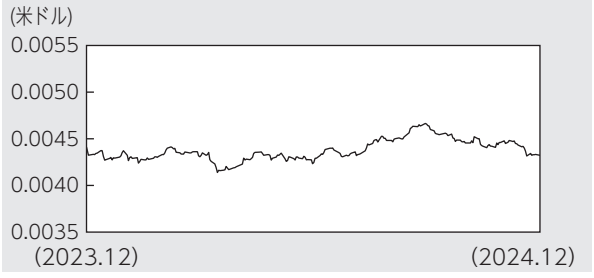
| 項目 | 第130期末 | 第131期末 | 第132期末 | 第133期末 | 第134期末 | 第135期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2025年5月23日 | 2025年6月23日 | 2025年7月23日 | 2025年8月25日 | 2025年9月24日 | 2025年10月23日 |
| 純資産総額 | 2,116,962,792円 | 2,192,206,189円 | 2,189,195,547円 | 2,201,700,828円 | 2,214,266,522円 | 2,258,612,244円 |
| 受益権総口数 | 3,094,133,374口 | 3,085,309,222口 | 3,024,117,209口 | 2,994,801,288口 | 2,964,699,594口 | 2,951,254,839口 |
| １万口当たり基準価額 | 6,842円 | 7,105円 | 7,239円 | 7,352円 | 7,469円 | 7,653円 |

（注）当作成期間（第130期～第135期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は169,861,205円です。

## 組入ファンドの概要

**[ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC)]**（計算期間　2024年１月１日～2024年12月31日）

◆基準価額の推移



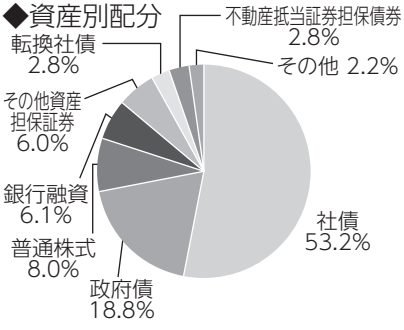

◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| US TREASURY N/B | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 4.6% |
| US TREASURY N/B | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 4.1 |
| ECHOSTAR CORP | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 2.3 |
| US TREASURY N/B | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 2.0 |
| ECHOSTAR CORP | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 1.6 |
| CEMEX SAB DE CV | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 1.6 |
| CONTINENTAL RESOURCES | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 1.2 |
| CHARTER COMM OPT LLC/CAP | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 1.1 |
| INDONESIA GOVERNMENT | ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ | 1.0 |
| GLENCORE FUNDING LLC | ｱﾒﾘｶ・ﾄﾞﾙ | 1.0 |
| 組入銘柄数 | 442銘柄 | |

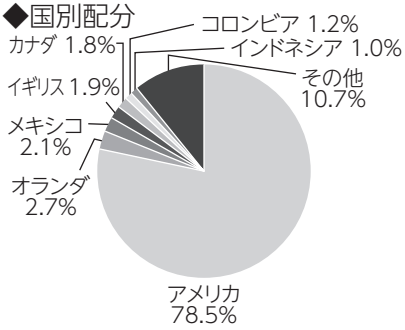
◆１万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

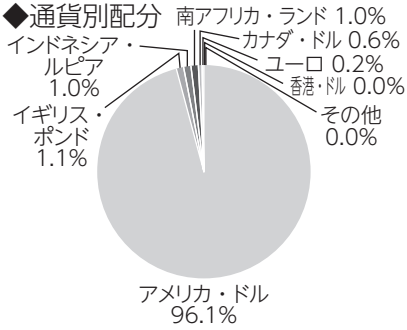
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移はストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC）の計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

（注２）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ストラテジック・インカム・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

（注３）組入上位10銘柄、資産別配分の比率はストラテジック・インカム・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は組入有価証券合計に対する評価額の割合です。

（注４）現金等はその他として表示しています。

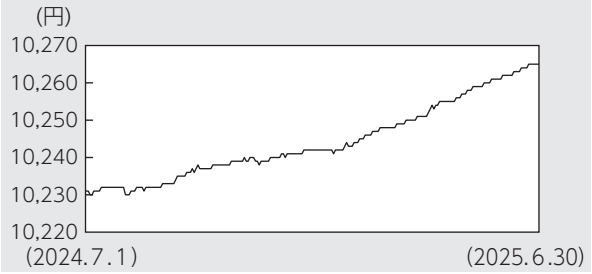
（注５）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

（注６）「ストラテジック・インカム・ファンド（クラスMC)」は、「ストラテジック・インカム・ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

（注７）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、財務書類およびステート・ストリート社から提供されたデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。費用の総額に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

**[ＭＨＡＭ短期金融資産マザーファンド]**（計算期間　2024年７月２日～2025年６月30日）

◆基準価額の推移



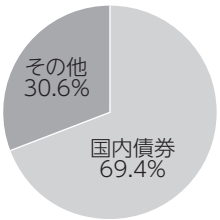

◆組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|
| １４８回　共同発行市場公募地方債 | 日本・円 | 16.5% |
| １４９回　共同発行市場公募地方債 | 日本・円 | 11.0 |
| １５３回　共同発行市場公募地方債 | 日本・円 | 11.0 |
| ２７年度７回　福岡県公募公債 | 日本・円 | 11.0 |
| ２７年度８回　埼玉県公募公債 | 日本・円 | 11.0 |
| ３２９回　北海道電力社債 | 日本・円 | 4.4 |
| ５３７回　関西電力社債 | 日本・円 | 4.4 |
| － | － | － |
| － | － | － |
| － | － | － |
| 組入銘柄数 | 7銘柄 | |

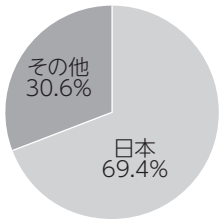
◆１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

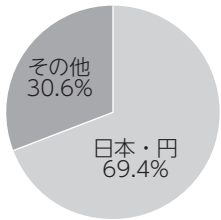
◆資産別配分




◆国別配分




◆通貨別配分




（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注３）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注４）現金等はその他として表示しています。
（注５）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）

（このページは白紙です）

Asset
Management
One